

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、職員各々が地域密着サービスの意義を理解している。又、事業所の理念は日々意識を保つ為にも、正面玄関の正面の見えやすい、目のつきやすいところに掲示し、年間目標も掲げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝夕の申し送り、ケア会議等で日常的に話し合いをしながら、理念の確認・共有に努め、サービスの中で反映させていくよう、努力している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議・民生委員会を通して町内会・家族の方へ日々の理念を基に説明し、御家族様には同意を、地域の方には賛同を得られるようにしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	草取り・ゴミ拾い等地域の行事に参加している。散歩に出ると地域の方々とは必ず挨拶を交わし違和感はない。また、地区の集会所に行き、読書の為の本を借りたりしている。	○ キャラバンメイトには一部の職員しか参加しておらず、地域との関わり合いから見れば、薄いと感じている。少しずつ距離感を縮めていければと考えている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ケア会議、申し送り時に説明している。指摘されたところは今後どうしていくか考え、考慮し改善に努めている。	○	指摘事項のハード面に関しては今すぐの行動が取れない状況ではあるが、出来る方法を模索していく。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的（2ヶ月に1回）に行い民生委員を通して、報告している。また、問題点があればその都度話し合いをし、協議の結果改善につなげている。		
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	頻繁に行き来するのは難しいがサービスの質の向上に取り組むように努力している。また、月一回の民生委員参加し情報の交換、今後の予定行事等の共有に努めている。	○	地域包括センターとの連携が未だ図れていない。これからはそれらも巻き込んだの会議等にしていきたい。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度は今後更に必要性があると認識している為、講義や研修の機会があれば参加している。		
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待は、事業所内においては一切無いと認識しているし、注意も払っている。また、研修の機会があれば参加に心がけていきたい。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている		
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている		
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職は必要最小限に抑える努力をしている。また、職員の移動についても極力行わず、馴染みの利用者様の担当を出来るだけ変更することなく利用者様の状態把握に努めている。入れ代わりは利用者様の不安を煽るだけなので、仮に代わった場合は利用者様への気配り・目配り・声がけにて対応している。		
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量を踏まえ、外部研修を実施している。研修報告書や年間の研修計画書を作成している。また、職員の興味のある研修には積極的に参加できるように努めている。		
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会のグループワーク等に参加しいろいろな施設など情報を交換している。また、忘年会や新年会で、他施設の職員と交流を図っている。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的に個人面談を行い、職員の不安や要望を聞きストレスの軽減に努めている。また、和室など職員の休憩場所が確保されている。	○	実際和室での休憩は取れておらず、職員のストレスの軽減には繋がっていないと感じているのが現状。解決のために、何らかの空間スペースの確保が必要と感じている。
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々に年間目標を立て、それについて定期的に個人面談を行い、向上心を持って働けるよう話しをしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	基本的にご家族様からの相談が多いがその際は、現在どういう状況で困っているかの把握に努め、適切なアドバイスをしている。また、状況に応じて市役所の方に相談している。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居希望の電話や、来客した場合にはまず何が優先事項かを把握し、適切な処置を行っている。 (現状は今直ぐの入居を希望されている方が多く、待機という形か、他施設の紹介をしている)	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	各居室に、利用者様の個性を活かしていただけるよう、担当職員が日々利用者様と接し、工夫している。また、ご家族様の意見や要望を取り入れ、居室の空間作りに勤めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理手伝い・洗濯タタミ・掃除等、利用者様の出来る範囲で力を貸していただき、スタッフと共に行い、感情の共有を行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の意見や要望をもっと取り入れるべく、ご家族様と意見交換ノートを作成しご家族様の意見をお聞きし、取り入れる努力を行っている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時などは職員から挨拶など積極的にし、ご家族様の話しには傾聴している。また、利用者様の話だけでなく、最近の事や自分のことを話されるご家族様もいらっしゃって、和やかな関係作りが構築されつつある。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・友人が面会に来ている利用者様もいる。また行事がある時には参加して頂けるように声かけにも努めている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間の相性をまず把握しお互いが気まづくなる事を防ぐ環境づくりを行っている。(席替えや、本人と傾聴し意見を汲んでいる)		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	一概には言えないが、その後相談や悩みを聞いている家族もいる。退居時(契約終了時)にも、そのような声かけを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人の意見を聞いているが、認知症状が強い利用者様には、ご家族様から聞きそれを活かしている。その意見を反映し自室に可能な限り、思いの詰まったものを置いている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にサマリーや家族からの聞き取りを活用し、書き込みをしている。その他にもカルテ等にこれまでの状況を記録したものを保管している。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様の得意な事は把握しており、手や口を出さずに出来る環境を整えている。また、状況に応じては一部の面において、介助している。最近では利用者様のほうからあれをやってみたい、これがしてみたい等の活発な意見も出てきている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	月に一度のケア会議にて介護計画の再アセスメントをしている。後日家族の方へ説明し家族の方の意見も参考にしている。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況変化時には状況の把握・再アセスメント・ケアプランの見直しをして、ご家族様にも了承を頂いている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタル等の身体状況の経過記録、日々の暮らしの様子等が解りやすく記録されており、入居者の様子が継続的に把握することが出来る状況作りをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設の近隣には公園・病院（個人病院）・スーパーがあり、買い物・散歩等本人の要望に応じて柔軟に対応している。また、外食の機会を増やし、個別ケアの一環としている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近くの保育園の運動会や行事等のお誘いを受けたり、園児たちがひな祭りの時に来所してくれる事が恒例となっている。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	一部の利用者様は市民病院の精神リハビリ（デイサービス）に通っている。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に一回運営推進会議に参加して頂けるように地域包括センターの方に声を掛けている。（実際には都合が合う時に参加して頂いている）		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えによる本人の負担を考慮して、十分な話し合いを持っている。また家族、介護保険施設等に適切な情報を提供している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室に入る際には、ノックをして声かけ、また居室でくつろいでいる方には極力声をかけないようにしている。個人情報に関しては徹底して厳守している。(個人情報保護法の書面にもサインし、漏洩防止に努めている)		
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が言う事は絶対に否定せず働きかけるようにして、工夫している。納得していない利用者様には本人の考えを再度傾聴し対応している。	○	傾聴しても利用者様の方から、暴言や暴行があり職員の怪我もあるときがある。
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴・就寝の一人ひとりのペースに合わせて介護していくように努力はしている。	○	特に入浴は個人差があり、毎回指摘を受けているのだが、改善に繋がっていないのが現状である。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望に沿って、理容師を呼んでカットや髪染めをして頂いている。また、馴染みの理容院に行かれている利用者様もいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の意見や食べたい物の希望を組み合わせメニューを作っている。調理の下ごしらえや食後の茶碗拭き、商品の買出しのお手伝いもしている。		
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	趣向品（酒・タバコ）をたしなむ方は現在はいらっしゃらないが、飲み物・おやつは好みを聞いている。また、毎週日曜日は手作りおやつ時間を設け、利用者様の意見を聞いて参考にし、一緒に作っている。		
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄状況を記録し、把握している。個々のパターンに応じてトイレ誘導している。		
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在入浴日と入浴時間の固定で入浴は行っている。	○	様々な理由により、入浴に関しては利用者様の希望の時間には、入浴できていないのが現状。
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	特に、昼寝の時間を設けているわけではないが、利用者様自体がいろいろな理由で、様々な時間に気ままに臥床されているのが現状。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様の生活歴等を考え、その人に合った時間の過ごし方をして頂いている。（ピアノ・塗り絵・編み物等）		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる利用者様には自己管理して頂き、金銭の管理はお願いしている。それ以外の利用者様には、外出時に金銭を渡し自分で支払って頂けるよう、支援している。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	暖かい日などは本人の希望も聞き散歩に行っている。ドライブなど利用者様の状態も見て外出している。また、外食に行きたいと言われる利用者様には支援し外出の機会を設けている。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	食事処や、スーパー・植物公園等、個別ケアを行っている。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様が電話を掛ける事や、手紙を書くことが困難な為、代わりに職員が家族に連絡したり、代筆したりして希望を優先している。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	玄関周辺には、庭木や草花が植えられた小さな花壇が設置され、家庭的な雰囲気であり、家族の方々は気軽に訪れている。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束簿をつけており、仮に拘束にいたる場合は家族の了承を得て行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	正面玄関は気候を見て網戸にし、開放感のある感じを出している。また、食堂や居室においても、気候を見て網戸にし開放感を出している。		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常時職員の配置をして、利用者様の所在を確認している。	○	極力施錠はしないで対応しているものの、状況に応じて施錠し利用者様が危険にさらさないような努力をしている。
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所は決まっており、薬や洗剤等は施錠できるように保管している。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット簿を作成しており、事故の再発防止に努めている。又マニュアルの作成を行い、ケア会議で話し合いをしたり、勉強会を行っている。		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急マニュアルを作成、避難訓練では職員が患者さんの代わりに模擬訓練の実施も行っている。		
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年4回行っており、日中・夜間帯の想定で行っている。また、外部研修によりAEDの使い方の習得も行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者様に起こり得るリスクは、申し送り等でスタッフには周知徹底を、またご家族様にはその都度、説明し理解を得ている。又、同意書の作成・説明を行い、了承を得ている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	起床時のバイタルチェック・また、バイタル異常者は申し送りをし体調管理をしている。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルに閉じて、薬の変更時を含めて、申し送り等で薬の内容を全職員で周知している。薬は入居者ごとに整理して保管し、毎食後に服薬の確認を行っている。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ほとんどの方が、下剤を服用（使用）している。排便を促すよう体操等行っており、牛乳や食物繊維などは十分に取っている。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは毎食後行っており、誤嚥性肺炎予防につとめている。また、口腔ケア行える利用者様には、見守り行い若干の介助はするものの、個人のペースで行っていただいている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	当ホーム独自で毎食のカロリー計算を行っており、ご家族様への報告等含め周知の徹底をしている。また糖尿病を患っている利用者様にはご飯の量や、おやつを量を考えて提供している。（ご家族様の了承を得て行っている）		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	年1回保健所に依頼し感染症予防の事で講義してもらい全職員が把握している。又、感染症のマニュアルも作り掲示している。その他に、年一回インフルエンザ予防接種も行っていて、感染症予防に努めている。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎夕食後、調理器具等はキッチンハイターで消毒している。食材は消費期限を守って提供していて、食堂内の物品（タオル等）は食堂の外には持ち出さないようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花を飾ったり、ウエルカムボードの作成をし、ご家族・入居者様同士の会話のきっかけになるように、意識している。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一部改築が必要な箇所はあるものの、利用者様の共有の空間内においては採光や外気を取り込むようにして、季節感を感じてもらおう努力をしている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ロビーを設け、テーブル・ソファ・テレビを設置し、利用者同士で談話できるように環境づくりに配慮している。廊下にはイスを設け、一休みが出来る環境となっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	昔から使用している家具等馴染みのあるものを持 ち込んでいただき、自分らしい居室作りに心がけ ている。また、担当者が各利用者様に対しその人 の雰囲気を出せるように工夫し部屋作りを行って いる。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	居室や廊下等の窓を開けて適度に換気している。 居室や廊下には温・湿度計が設けられており寒・ 暖設備にて調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーであり、適所に手すり・ 滑り止めが設置されている。洗面台・トイレ内 には車椅子でも使いやすい構造になっている。	○	浴室の作りは一般家庭とほぼ同じ造りになってお り、補助具の設置をしているものの、利用者様 にとって快適な空間とはいえない。
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	居室前には、入居者様の氏名の札を表示して自分 の居室を解るよう配慮をしている。トイレにもは がき大の用紙にて表示して、わかりやすい様に している。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	ホームのベランダには洗濯物を干したり、ホーム 脇のスペースには花を植えたりと、利用者様が活 動できるようにしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ●利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ●利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ●ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様の残存機能を十分に活かすための努力をしている。また、利用者様に対して各担当が個別ケアを行っており、居室の空間づくり 衣服の好み レクリエーションの活動の幅を広げたりと、特に個別ケアに関して力を入れている。また、地域との交流を広げるべく、色々な行事(草刈、納涼祭、卒園式等)に参加している。